

第36回 『あいおの会』

- 失語症友の会 -

1、「失語症友の会」とは

失語症とは、脳卒中や事故などの後遺症によって、言葉を操る能力に障害が残った状態をいい、聞く・話す・読む・書くことすべてに影響を及ぼします。このような失語症の方に対して、言語聴覚士が中心となり、個別の訓練・支援をおこなっております。

失語症の多くの人は、日常の何気ない会話が不自由になり、仕事や趣味活動など、社会活動への参加が難しくなります。そこで、熱海・伊東地区では、失語症の方々のコミュニケーションの機会を作り、交流を深めるという目的で、平成18年7月より「失語症友の会」を開催しております。会には国際医療福祉大学熱海病院と熱海所記念病院の言語聴覚士や患者様のご家族も参加しております。

2、第36回「あいおの会」

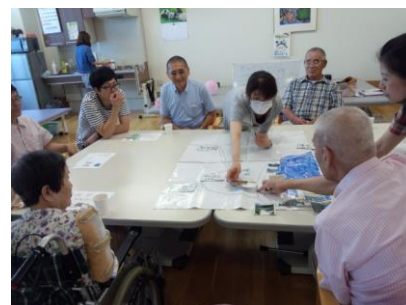
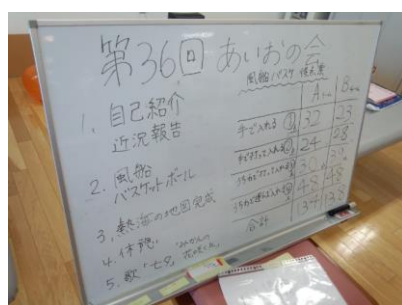
平成25年7月7日(日)国際医療福祉大学熱海病院にて、第36回失語症友の会が開かれました。今回は、失語症患者様6名とご家族様・ヘルパーさん、言語聴覚士など多数の方にお集まりいただき、賑やかな雰囲気でした。

二ヵ月ぶりということで、近況報告をしました。そのあと、風船バスケットボールと熱海の地図完成ゲームを行いました。風船バスケットボールはチームに分かれて、接戦の末にBチームの勝利となりました。熱海の地図完成ゲームは、男性陣を中心に着々と完成させることができ、熱海の名所や行事の話題で、盛り上がる事が出来ました。「七夕」、「みかんの花咲く丘」を歌った後、七夕ということで短冊に願いを書き、ササの葉に飾ってお開きとなりました。

一足早い夏が到来して、暑い中での友の会でした。次回お会いする時は暑さも和らいでいるといいですね。

次回は平成25年9月8日(日)13時から、国際医療福祉大学熱海病院で行います。

会場はリハビリ室となります。



*風船バレーでもりあがりました。僅差でBチームの勝利！

名所探し、つい熱が入ります。